



冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

## ♪1月の給食紹介♪

9日(金)・・・七草&鏡開き献立

「早寝早起朝ごはん」  
運動シンボルマーク



春の七草を正月7日におかゆにいれて食べ、1年の無病息災を祈ります。また、11日の鏡開きではお正月に飾っていたおもちを割って食べる風習があります。給食では「七草汁」と「白玉ぜんざい」を提供します。

せり	なずな	ごぎょう	はこべら	ほとけのざ	すずな	すずしろ
独特の香り。鍋物にも使われる。	別名「ベンベン草」。ミネラル豊富	別名「母子草」。せきどめの生薬にも	花は星型。英語で「chickweed」とも。	コオニタビラコ。タンポポに似てる。	かぶのこと。漢字で「鈴菜」とも*。	大根のこと。漢字で「清白」とも*。

○19日(月)～30日(金)・・・大北小 教職員の思い出の給食 ※20.21日は除く

給食は地域や世代によって、さまざまです。大北小の大人たちが、小学生の時に食べていた給食とそのエピソードを紹介していきます。また、給食時には給食委員さんがエピソードをクイズ形式で紹介してくれます(一部は実際に給食で再現し提供します。)

○21日(水)・・・練馬産ねぎ給食

練馬区すべての小中学校において、練馬区でとれた新鮮なねぎを給食に提供します。今回は「練馬産ねぎのすきやき煮」を作ります。

※本校では他の日でも練馬区田柄の農家さんより新鮮な野菜を購入し、地場産の野菜を給食に取り入れています。

## ♪給食食材の主な産地(12月)♪

食材	産地	食材	産地	食材	産地	食材	産地
にんじん	練馬、千葉	きゅうり	埼玉	米	秋田、茨城、北海道、新潟、宮城、岩手		
たまねぎ	北海道	小松菜	埼玉	さば	九州、北海道	麦	福井、山梨
じゃがいも	北海道	もやし	栃木	鶏肉	青森	牛乳	東京、群馬、宮城
キャベツ	愛知、練馬	大根	練馬、千葉	豚肉	青森		山梨、岩手、青森
ねぎ	茨城	みかん	愛媛	卵	栃木		北海道、福島、山形



1/24~1/30 は  
「全国学校給食週間」です

に ほん がっ こう きゅう しょく

## 日本の学校給食のあゆみ

がっ こう きゅう しょく はじ

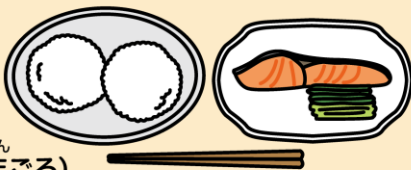
### 学校給食の始まり



明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりしましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

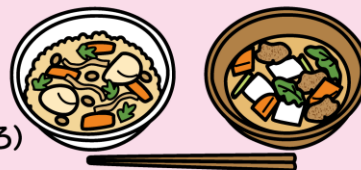
#### おにぎり

や ざかな  
焼き魚  
つめの  
漬物  
(明治 22 年ごろ)



#### 五色ごはん

えいよう しる  
栄養みそ汁  
(大正 12 年ごろ)



し えん ぶっ し がっ こう きゅう しょく さい かい

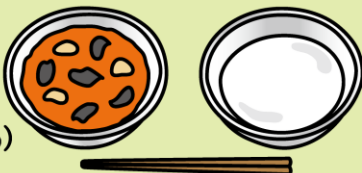
### 支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア救援公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

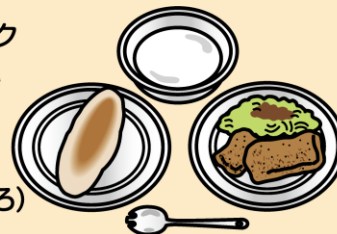
#### ミルク

トマトシチュー  
(昭和 22 年ごろ)



#### コッペパン・ミルク

クジラの竜田揚げ  
せん切りキャベツ  
(昭和 25~30 年ごろ)



ゆた こん だて ない よう

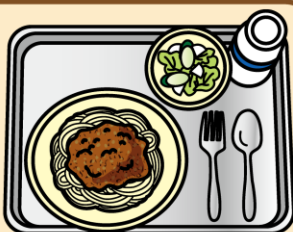
### バラエティー豊かな献立内容に



昭和 29 (1954) 年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯 (ご飯) が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

#### ミートスパゲッティ

牛乳  
フレンチサラダ  
(昭和 40~50 年ごろ)



#### カレーライス

牛乳・塩もみ  
ゆで卵  
(昭和 51 年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。